

The background features a light brown, warm-toned surface. In the center, there is a silver stethoscope lying horizontally. To the left of the stethoscope, there are two small, light-colored wooden house models of different sizes. The text is overlaid on this scene in a clean, white, sans-serif font.

# 医療と暮らしをつなぐ 訪問看護

一般社団法人 千葉県訪問看護ステーション協会

山崎 潤子



# 本日の内容

1 暮らしを支える訪問看護とは

2 安心を支える在宅医療

# 1 暮らしを支える訪問看護とは





# 訪問看護とは



病気や障害があっても  
住み慣れた家で暮らしたいと  
望む方に、  
**看護師等が自宅を訪問**して、  
その方の病気や障害に応じた  
看護を行います



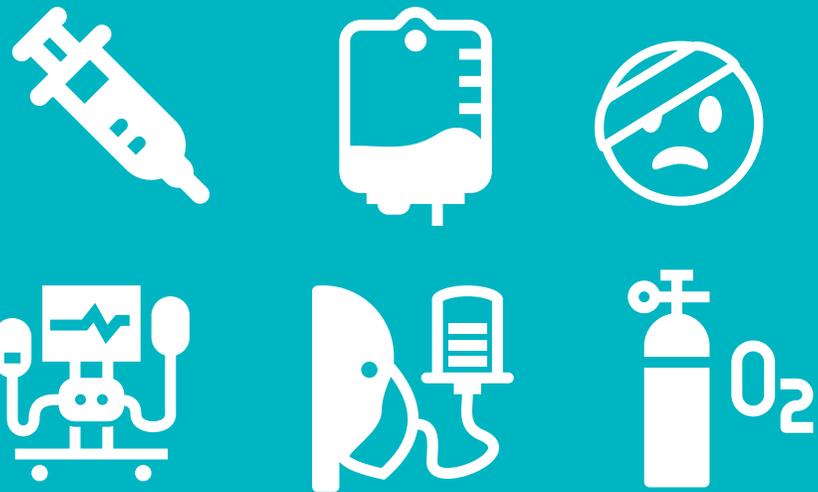
子どもから高齢者まで、  
病気や障害が軽くても重くても、  
訪問看護を必要とするすべての  
方が利用できます



# 看護師の仕事

## 診療の補助

医師の指示のもと、医療行為を行う



## 療養上の世話

病状の観察をしながら、日常生活に対する援助





# 在宅での訪問看護師の仕事

医師の指示のもと、医療行為を行う

病状の観察をしながら、日常生活に対する援助

## ご自宅での生活を支えます

- 病状、生活、環境に合わせた医療やケア
- 在宅チームを組んでの支援



# 生活を支える



病気や障害の影響を最小限にする  病気を予防する 



# 例えば「食べる」の看護師の支援

## 食事介助

- 麻痺などがあって自分で食べられない方
- 嚥下障害があり、誤嚥や窒息のリスクがある方
- 認知症があり、一人では食事ができない方  
など

## 自立に向けた支援

- 安全に食べられるか見守り
- リハビリテーション
- 食事内容や道具、環境の工夫

など



## 食事・栄養指導

- 糖尿病、高血圧など栄養と関連した疾患の指導
- フレイル・サルコペニア予防のための食事指導
- 必要な栄養が取れているかのアセスメントと、指導

など

## 栄養に関する医療処置・相談

- 胃瘻、経管栄養などの管理
- 中心静脈栄養の管理
- 口から食べることが難しくなった時に、どうしたいか（ACP）

など



# 例えば「心不全」のある方の訪問看護

心不全；心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、  
だんだん悪くなり、命を縮める病気



- 病気が進行しやすい
- 入退院を繰り返す人もいる
- 自己管理で悪化を防ぐ
  - 内服治療
  - 食事療法
  - 活動と休息の調整 等
- 糖尿病や高血圧などのある方がなりやすい病気（予備軍）
- 息切れで生活に支障が出やすい

病気が悪くなる兆候を見つけて、早めに治療できるように支援

内服薬がきちんと飲めるような工夫  
体調に応じた薬の調整（医師と相談）

減塩食など、自宅での食事の工夫の助言

心不全にならないように療養指導

息切れで困っている生活の支援



# 例えば「心不全の方の入浴支援」の支援

## 環境の調整

- どのくらいの負荷がかかる  
と息切れが出るかを判断
- 浴室の環境調整（シャワー  
チェアの利用、手すり、浴室  
温度、湯温など）
- 入浴動作の手  
順の調整

など

## 入浴の介助

- 入浴できる  
体調かの判断
- 動作的には一  
人でできるが、  
息が切れてしま  
うため、負担な  
部分を介助
- 入浴中も状態  
を観察しながら  
、負荷を判断し  
て安全を確保す  
る

など

## 療養指導

- 心不全がコン  
トロールでき  
ることで、安  
全に入浴でき  
る
- 病気の特徴を  
とらえて、悪  
化の兆候を早  
くキャッチし  
て重症になら  
ないようにす  
る

など

## 清潔を保つ支援

- 入浴できない  
ときの対応  
（清拭、洗髪、  
部分浴など）
- デイサービス、  
訪問入浴等と  
の連携
- ACP

など





# 暮らしを支える訪問看護とは

病気や障害があっても、住み慣れた自宅で安心して過ごしたいを支える

日々の健康管理、早期発見・早期対応で体調を整える

自分で出来ない部分の支援＋自立に向けての支援

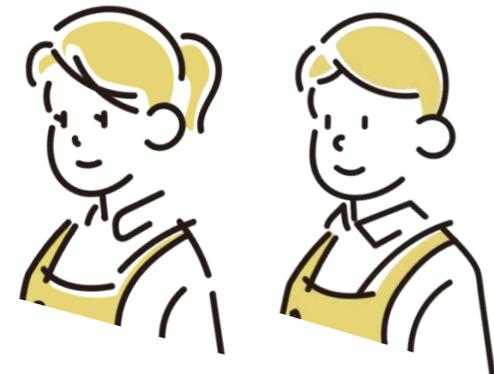
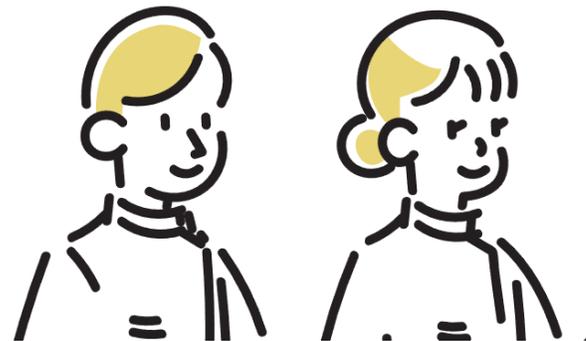
病気や障害とどう向き合っていくか、生き方についても一緒に考える

その方の個別性に合わせた看護



# 訪問看護と訪問介護の違い

	訪問看護	訪問介護
職種	看護師など医療の専門職	介護福祉士など介護の専門職
医療的判断	疾患名や既往歴、 フィジカルアセスメント（身体診査） などから、病状の把握・予測・緊急性 の判断などが可能	血圧、体温などは測定できるが判断は できない
医療処置	医師の指示のもと実施できる	一部を除いて実施できない
医師との連携	訪問看護指示書を通じて必ずあり	必要に応じて



## 2 安心を支える在宅医療





# 急病の時は救急車で病院へ行けば安心？

## 搬送時の課題

病院へ搬送すること自体が、体への負担がある

家族や支援者の付添いが求められる

## 医療機関の課題

夜間・休日は医療機関も受け入れ態勢が不十分

当直の医師がその領域の専門医とは限らない

不要な検査を受けるかも

検査が十分でないまま、とりあえずの治療が始まる

## 搬送後の問題

あげく、入院にならないかもしれないので不安が残る

帰宅の足が無い

特に、高齢者・要介護者等の場合は、安心とは限らないこともある



# 病気の際は入院すれば安心？

## 入院生活の課題

安静による弊害  
(歩けなくなるなど)

せん妄  
(一時的な意識混濁)

禁食による弊害  
(嚥下の低下など)

認知機能の低下

## 治療上の課題

急性期治療の  
ラインに乗せられる

検査が十分でない  
まま、とりあえず  
の治療が始まる

## 退院後の課題

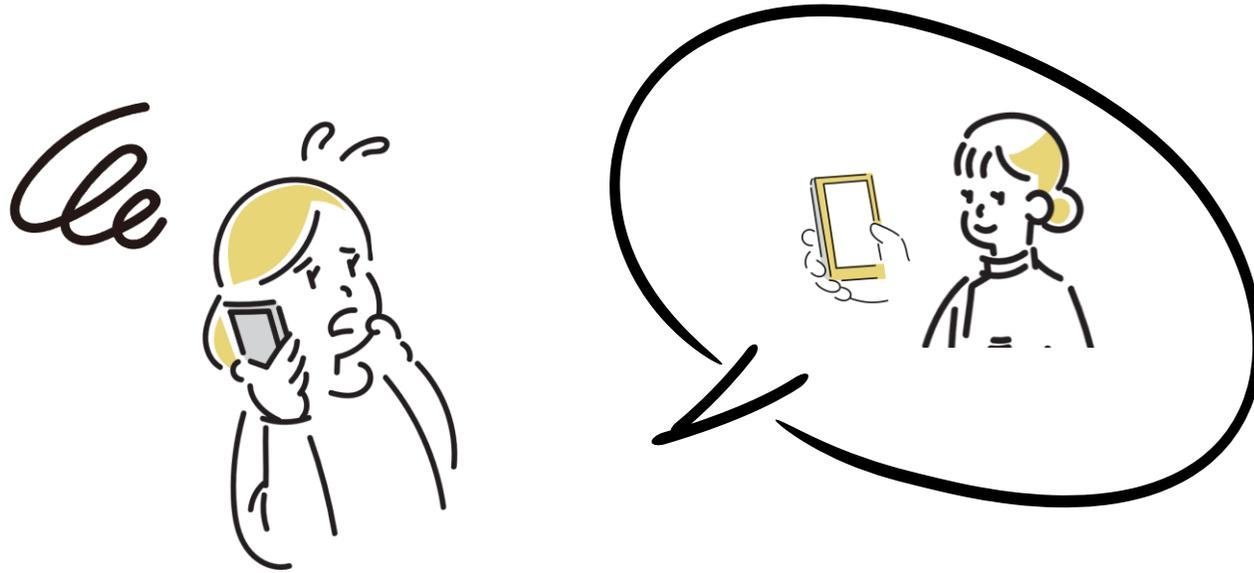
入院前と同じ生活  
が出来ないかも

自宅に帰れない  
かも

特に、高齢者・要介護者等の場合は、安心とは限らないこともある



# 急な状態変化時の在宅医療での対応



## 緊急性の判断

- ・ 持病や障害の影響を考慮
- ・ 訪問で把握している普段の状況との比較
- ・ 生命への危険がどのくらいあるか、緊急性の判断

## 電話で対応

- ・ あらかじめ決められた方法で対応  
(ご本人・家族自身で対処)
- ・ 経過を見る
- ・ さらに症状が変化した場合に再度連絡をもらう

## 看護師が訪問する

- ・ あらかじめ決められた方法で対応  
(看護師による処置)
- ・ 看護師が状態を観察し判断

## 看護師が医師に相談

- ・ かかりつけ医に相談
- ・ 医師の指示により対応

## かかりつけ医が往診

- ・ かかりつけ医が対応
- ・ 在宅で可能な治療の実施
- ・ 入院が必要とされた場合に、かかりつけ医が連携し入院先を調整



# 急変が生じないような訪問看護の関わり

## 予防

- ・症状の悪化が生じないように予防的なケアを行う

## 早期発見

- ・重症になる前に、異常を早期に発見し、早めに対応
- ・どのような状況が起こりうるかを事前に指導

## 事前に医師に相談

- ・起こりうる症状を事前に相談し、対応方法を検討
- ・対応のための薬剤や医療物品の準備

## 緊急性の判断

- ・持病や障害の影響を考慮
- ・訪問で把握している普段の状況との比較
- ・生命への危険がどのくらいあるか、緊急性の判断

## 日頃の訪問看護・在宅医療での支援

## 電話で対応

- ・あらかじめ決められた方法で対応（ご本人・ご家族自身で対処）
- ・経過を見る
- ・さらに症状が変化した場合に再度連絡をもらう

## 看護師が訪問する

- ・あらかじめ決められた方法で対応（看護師による処置）
- ・看護師が状態を観察し判断

## 看護師が医師に相談

- ・かかりつけ医に相談
- ・医師の指示により対応

## かかりつけ医が往診

- ・かかりつけ医が対応
- ・在宅で可能な治療の実施
- ・入院が必要とされた場合に、かかりつけ医が連携し入院先を調整



# かかりつけ医や訪問看護の役割

- 高齢になると複数の病気を持つ人が多い
- 治療をすることが、かえって生活の質を落とすことがある
- 医療の目的が「病気を治すこと」ではなく「いつも通りの生活を維持すること」となることもある



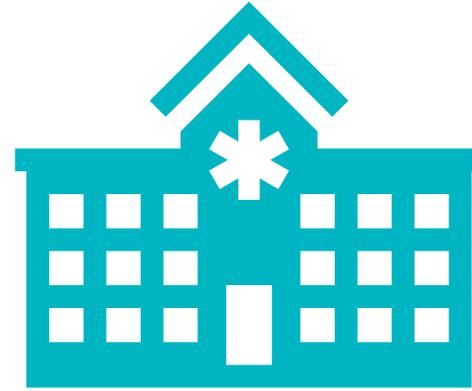
病気ではなく、その人全体をみる

その人の生き方に寄り添う

どういう生き方をしたいかを一緒に考える



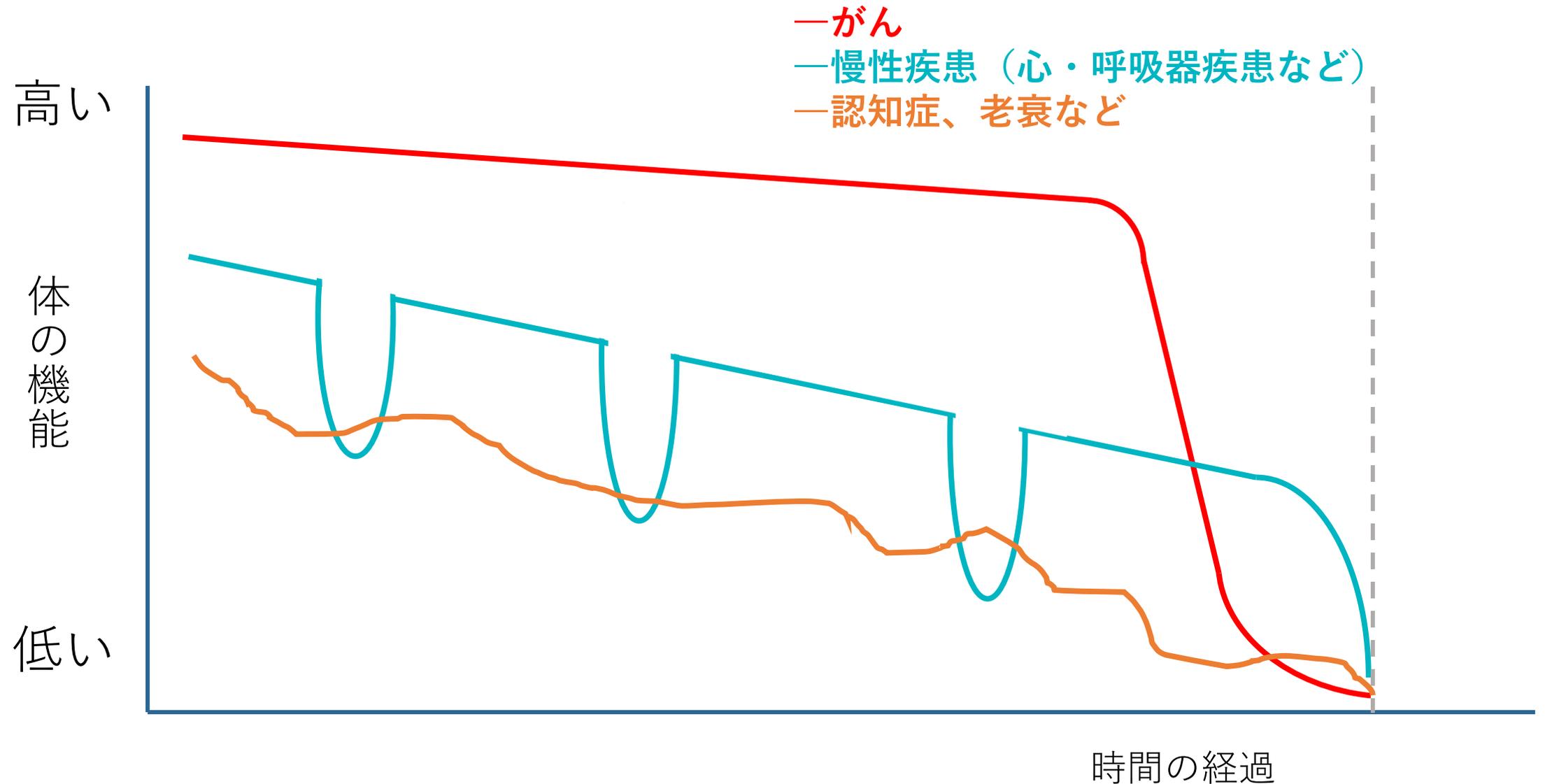
# 在宅医療での看取りの支援

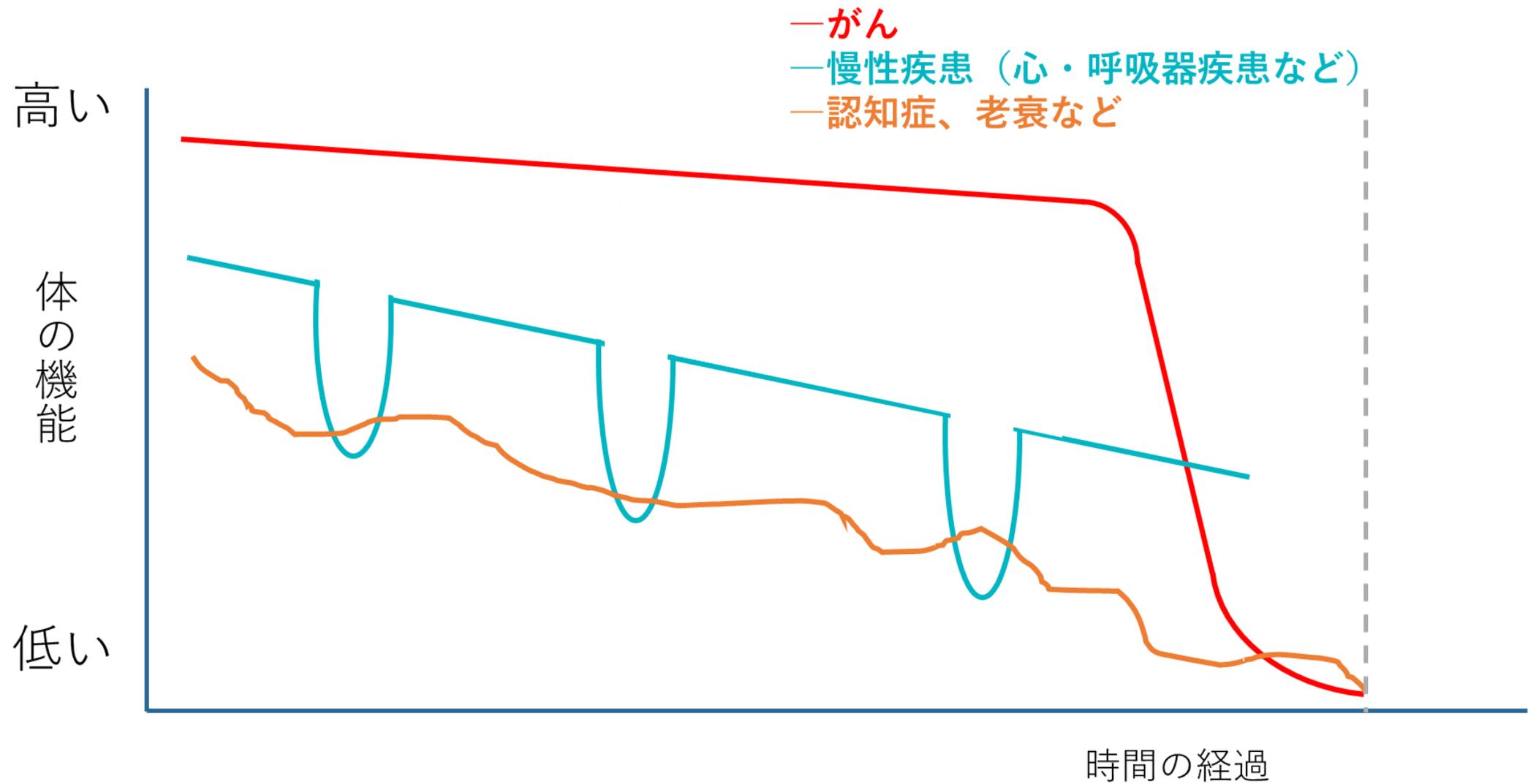


- 息を引き取る場所がどこであっても、住み慣れた自宅で長く安心して過ごすための支援
- 自宅で苦痛を最小限にして安心して暮らせるための支援の先に看取りがある



# 亡くなるまでの経緯





体の機能が低下してから、慌ててかかりつけ医や訪問看護、介護サービスを手配することにならないよう、事前からの準備が大切です



# 看取りの時期の在宅医療

## 緩和ケア

## 在宅での医療の実施

## 生活を支える

緩和ケア  
(苦痛症状の緩和、  
精神面の支援)

医療機器の管理  
(酸素療法など)

在宅医療体制  
づくり

日常生活のケア

疼痛コントロール  
(内服、点滴、座薬、  
貼付剤等)

医療処置の実施  
(点滴、床ずれ)

支援者との連携

ご家族のケア



多職種で看取りも支えます





# その人らしい暮らしを支える在宅医療

やりたい  
ことができる

目標が  
達成  
できる

病気を  
予防でき  
る

治療が  
生活に支  
障をきた  
さない

病気や障害が  
あっても、  
安定して  
生活できる

自分で  
出来る  
ことが  
増える



人生の伴走者  
として  
寄り添います



# まとめ

訪問看護師には、  
医療と生活の  
両面を支える役割  
があります



多職種と連携して、  
在宅生活を  
支援しています